

- 東大阪市学校教育基本目標
すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を
- 東大阪市学校教育重点目標
 - 総合的視点に立つ教育の推進
 - 人間尊重に徹した人権教育の実践
 - 信頼に応える学校園経営
 - 学校園・家庭・地域の協働

健康教育研修会実践報告より

「第2次食育推進基本計画」 周知から実践へ！

7月30日、各学校園の健康教育・食育担当者である教職員への健康教育研修会を開催しました。今年度は、高井田中学校教諭の芝紀美子先生に『食生活を主体的に豊かにすることをめざして』というテーマで、実践報告していただきました。たくさんの食品添加物が含まれている加工食品や飲料水を毎日摂取している生徒たちが多いということがわかり、その実態の中から「食品添加物」について生徒が正しい知識を身につけ、「食」を選択する力を習得し、将来にわたって自立した生活を構築していく力を育てていくこと、をねらいとして授業に取り組まれていました。今後、栄養の偏りや不規則な食生活、食品添加物等が、社会的課題となっているがんや生活習慣病とどのような因果関係があるのか、食育を通してがん教育への取り組みも計画されています。



後半は、大阪樟蔭女子大学 学芸学部 健康栄養学科の南明美先生に『これからの食育を考える』というテーマでご講演いただきました。知・徳・体の基礎となる食育の実践的な指導を行うためには、教職員の共通理解を図りながら教育活動全体を通して組織的・計画的に進めていくことが大切であり、学校園を地域社会における食育の核として、取り組みを広げていくことが求められているということを教えていただきました。参加した教職員からも、「幼・小・中・高の連携を意識した取り組みを行っていきたい」という感想が寄せられました。

特別支援教育に関わる夏期研修会より・・・

今夏、教職員（巡回指導・相談新規訪問対象校）への研修に加え、スクールヘルパー・ケアアシスタントのさらなる資質向上をめざし、特別支援教育研修を実施しました。

巡回指導研修会

『よい姿勢とは』～椅子に座った姿勢について～と題し、東大阪市療育センター理学療法士の小林あゆみ先生と林田政弘先生に講義いただきました。

障害のある子どもの立場に立った演習を通して、普段子どもたちはどんな制限や不自由を抱えているのかを再認識しました。また、姿勢は一人ひとり違い、活動によって違い、同一姿勢の目安は15分であること等を教えていただき、今後の支援や介助に大変役立つ講習会となりました。



＜感想より・・・＞
実際に体験してみることで、姿勢を正す大切さについて学ぶことができ、是非、学校で活かしていきたいと感じた。

スクールヘルパー・ケアアシスタント一日研修

『発達障害の理解と対応について』と題し、東大阪市療育センター発達障がい支援センターPAL 橋本美紀先生に講義いただきました。

子どもたちへの気づきを深めるために、どのように支援していけばよいのかについて、疑似体験を交えてお話しいただきました。



子どもたちが友だちから理解され、自己肯定感を持って成長できるように支援していきたい。

【スクールヘルパーさんを代表してお二人に実践報告していただきました。】

【実践交流】

Enjoy Talking
in English
Each Other!

コミュニケーションを楽しもう

=東大阪市英語教育の取組み=

東大阪市では「英語暗唱大会」「英語まつり」「エッセイコンテスト」などの英語行事や、授業で複数の ALT (*1) を活用する「移動英語村」など、英語を活用する機会を充実させる取組みを実施しています。

その一つとして、実践的な英語力の育成と学習意欲の向上をねらい、7月23日(水)に「夏休み英語村」を実施しました。8中学校より約50名の生徒が参加し、47人の ALT/AET (*1) と英語でのコミュニケーションを楽しむ1日を過ごしました。

当日は、まず受付で一人ひとりが「英語村パスポート」をもらうところから、原則として英語のみで過ごす1日が始まりました。最初は緊張した表情を見せていた生徒も、全体でのゲームや小グループでの活動を通して、どんどん活発になり、終了する頃には、参加者全員が歌や寸劇、クイズショーなど、すすんで舞台上がり、英語で発表を行いました。



「先生たちが優しくかった。話すことが面白かった。」「次の機会にはもっと話せるようになっていたい。」など、子どもたちの感想からも充実した一日を過ごせたことがうかがえました。

(*1: ALT/AET とは英語を母語あるいは公用語とする国出身の英語講師です。)



中学校生徒会交流会(7/9・8/22)が開催されました



生徒会活動の充実を目的に、市立中学校の生徒会メンバーが集まり、「各校の取組み」と「いじめ撲滅に向けて」をテーマに、2回にわたって熱い交流会が行われました。

ユトリート東大阪で行われた第1回交流会では、各校が力を入れている取組みや、活動を発表し、その後「いじめのない学校づくり」というテーマで、他校の生徒とグループ討議をし、KJ法を使いながら活発な意見交流が行われました。このテーマについての具体的な方法や考え方等を、第2回目の交流会で発表できるように、各校で話し合ってくるという課題が出されました。



市民会館で行われた第2回交流会では、いじめ撲滅に向けて話し合ってきたことや取組み、そして各校で考えてきた「いじめ撲滅宣言」を発表しました。中には学校独自にスライドやいじめ撲滅CMを作成している学校もありました。また、グループ討議では、「いじめ撲滅宣言」といじめ撲滅に向けての「キャッチフレーズ」を考えました。

各班からの発表の後、生徒による投票の結果、キャッチフレーズは、「たすけあおう こわがらずに やめようやと きみの勇気でいじめはなくなる」と決まりました。



そして最後に、11月に行われる大阪府生徒会サミットの代表校を投票によって選出し、今年度は縄手中学校が代表校と決定しました。縄手中学校には、本校の取組みはもちろんのこと、東大阪市の生徒会交流会の取組みを発信してもらいます。また、東大阪市の生徒会活動の活性化につなげてもらうため、府内の様々な取組みから学んだことを持ち帰って生徒会交流会で報告してもらう予定です。